

プロジェクト「環境(持続可能な社会の構築)」計画案

1. 目的

現代社会における大量生産、大量消費、大量廃棄に伴う人の生き方は限界になり、地球環境問題等々々々を引き起こし、人と被造物の生存基盤そのものを損なっています。この事実をわかりやすく示し、聖書にもとづく人のライフスタイル、持続可能な社会の構築を明らかにし、具体的にキリスト者として生き、福音宣教に寄与します。

2. 目標

① 現代社会で生きることについて、聖書的理解を再構築する。特に、キリスト教倫理を明確にする。

② 聖書に基づく持続可能な社会について、具体的な取り組みを行う。

聖書にもとづくライフスタイルを提案し、ネットワーク化を図る。例えば、地方教会を中心とし一次産業(農業、漁業、林業等)の生産物を都市の教会の需要をマッチング、関係づける。地方教会の出身者を都市教会が受け入れた場合、その恩恵の一部を継続的に地方教会に還元する。若者、職を失った人等、関連付ける。双方で担い合う。

知識労働者が職業を通じて身に付けた専門的な「スキル」と、自らの「時間」を提供して社会貢献を行う新しい形のボランティアとしての「プロボノ」の活動をキリスト者として推進する。

社会の状況に疑問を感じたとき、政府や民間企業に任せるのではなく自ら解決に乗り出す「ソーシャル・アントレプレナー」の働きをキリスト者として推進する。既存のシステム自体を変え、国境を問わず活動を広げることにある。

③ 情報発信、情報傾聴を行う。

ホームページ、機関誌を作成し、成果について公表し、社会に啓発する。様々な意見について傾聴し、検討し、この結果を表明する。フォーラムを開催する。

④ 推進体制、推進主体を構築する。

母体となる「コンソーシアム(連合協同体)」を立ち上げ、事務局を作る。

3. 実施計画

① 2016年9月

概要をあきらかにし、取り組む内容を明示する。

伝道会議で公表し、参加者、協力者を求める

② 2017年9月

運用組織(コンソーシアム)の設立、事務局を作る

③ 2017年10月より

運用開始、会員募集、ホームページを中心とし情報公開、情報傾聴を行う。

③ 2019年3月

活動について、検証、評価を行う。2013年に向けて軌道修正を行う。

④ 2023年9月

第7回伝道会議で成果を評価し、この内容を公表する。

4. 責任主体

当面、プロジェクト「環境(持続可能な社会の構築)」のメンバー

「コンソーシアム(連合協同体)」を立ち上げた場合、このメンバー、及びこの事務局